

【クラブ活動報告】

創立45周年記念式典

和歌山北ロータリークラブ
会長 福田 玉緒

こんにちは。今年度、和歌山北ロータリークラブは創立45周年を無事迎えることができました。ご多忙中にもかかわらず、ご来賓の皆様におかれましては、ご臨席を賜りまして、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。



当クラブは先日65周年を迎えられた和歌山東ロータリークラブ様をスポンサークラブとして誕生しました。その後、東済州ロータリークラブ様と締結、又、本日遠方よりお祝いに駆けつけて下さった水戸東ロータリー様とは友好クラブを締結しました。

当クラブの事業を紹介させていただきます。

和歌山刑務所様には毎年書籍を寄贈、《和歌山北ロータリー争奪お別れ野球大会》は今年で20回目を迎えます。私も何度か観戦に行きましたが、子供たちの野球に対するひたむきさ、優勝したチームは諸手を上げて喜び、準優勝したチームは悔しさのあまりグラウンドに泣き崩れと本当に毎回、私たち会員は多くの感動を頂いております。又、先月開催の《和歌山北ロータリージュニアカップ杯》は小学生から高校生を対象にしたゴルフ大会ですが、ティーグラウンドで何の迷いもなく放つティーショットには驚きと圧巻の光景でした。



和歌山県庁正面玄関前の花壇の植え替え、又、和歌山市内9クラブ合同での和歌山JR西玄関前の花壇の植え替え、石川県への災害義援金の贈呈等、多くの事業に取り組んでおります。

周年記念事業として、和歌山市の姉妹都市でもあります済州島に在する《東済州ロータリークラブ》様と共同事業として和歌山伏虎義務教育学校様に防災備品一式を寄贈しました。これは、元旦に起こった能登半島地震がきっかけとなっております。



和歌山県は温暖な気候、海の幸、山の幸に恵まれ大変住みやすい県です。特に和歌山市はこれといった大きな災害もなく、又、済州島もアジアを代表するリゾート地として知られております。

しかし、この地震により私たちの脳裏には南海トラフ地震が頭をよぎったのではないのでしょうか。いつ起こるか予知すらできない災害に備え、子供たちに今以上に防災の意識を高めてもらうきっかけになればという想いを込めて寄贈致しました。

結びに、和歌山北ロータリークラブ、今日を新たなスタートとして微力ながら地域に貢献してまいります。ご協力の程よろしく願いいたします。

そして、ご来賓の皆様の益々のご発展とご健勝をご祈念申し上げます。

